

AVIC-D6500

取付説明書

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99J00F0K01 > < CRA2894-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ
製品の配置を考える ————— 5ページ

② 接続する

接続の前に知ってほしいこと ——— 6ページ
接続端子のなまえと働き ————— 8ページ
システムの接続 (1) ————— 10ページ
「ND-B3」「CD-V100」
システムの接続 (2) ————— 12ページ
電源コードの接続 (1) ————— 14ページ
電源コードの接続 (2) ————— 16ページ
VICS/FM多重アンテナの接続 — 18ページ

③ 取り付ける

取り付けの前に知ってほしいこと — 20ページ
ナビゲーション本体の取り付け — 21ページ
GPSアンテナの取り付け ————— 28ページ
リモコンの取り付け ————— 30ページ
TVモニター取り付け ————— 32ページ
TVアンテナの取り付け ————— 34ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

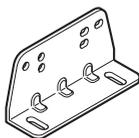
接続の確認と
センサーリセットを行う ——— 42ページ

接続・取り付け部品を確認する

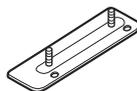
ナビゲーション本体関係



① ナビゲーション
本体 × 1



② 取付アングル × 2



③ 取付ベース × 2



④ 粘着テープ × 2



⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4



⑥ 座付きネジ
(5 × 8 mm) × 4



⑦ タッピングネジ
(6 × 16 mm) × 4

GPSアンテナ関係



⑧ GPSアンテナ × 1



⑨ 金属シート × 1



⑩ クランパー × 5

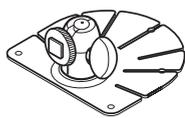


⑪ 防水パッド × 1

TVモニター関係



⑫ TVモニター × 1



⑬ TVモニター
取付金具 × 1



⑭ スペース × 2



⑮ タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 5

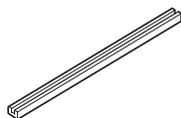
TVアンテナ関係



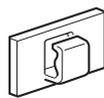
⑯ TVアンテナ
右用・左用 各1



⑰ 透明シート × 2



⑱ コードレール × 4



⑲ クランパー × 6



⑳ ガラス
クリーナー剤 × 1



㉑ クロス × 1



㉒ 六角レンチ × 1

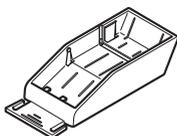
リモコン関係



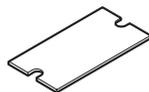
㉓ リモコン × 1



㉔ 単4形アルカリ
乾電池 (LR03) × 2



㉕ リモコン
ホルダー × 1



㉖ 両面テープ
(57 × 34 mm) × 1

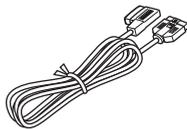
接続・取り付け部品を確認する

つづき

コード関係



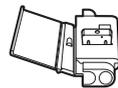
②⑦ 集中電源コード
× 1



②⑧ 20ピンRGB
ケーブル × 1



②⑨ ピンリード線
延長コード (5 m)
× 1



③⑩ Uエレメント
コネクター × 1

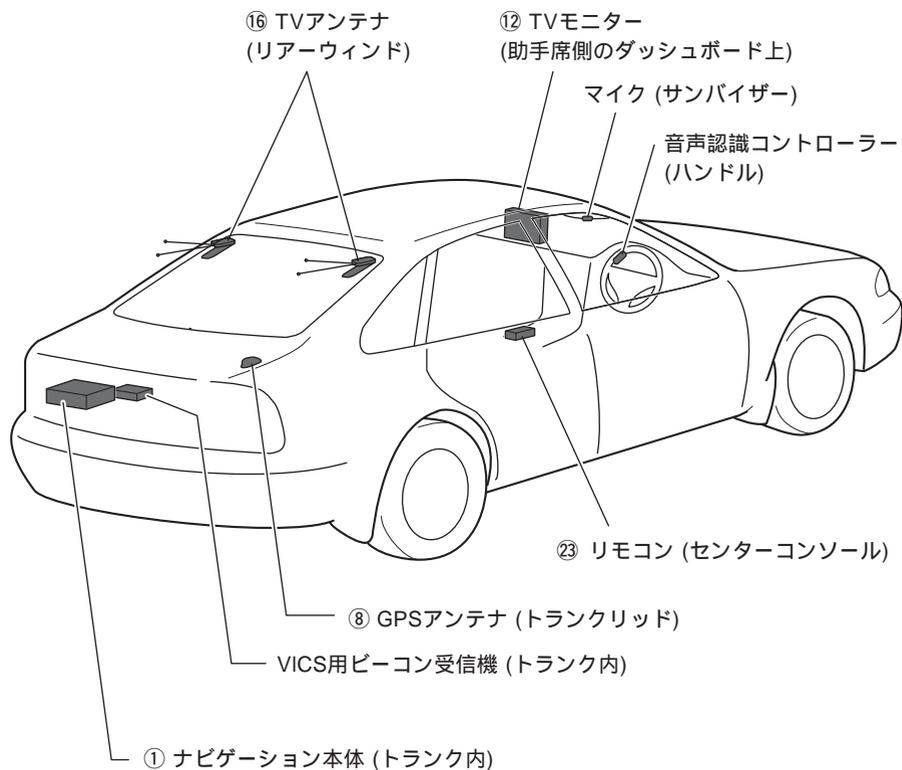


③① ミニプラグ
JASOプラグ変換
ケーブル × 1

配置例

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。(数字が付いている製品が本機の構成です。)

実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。

本機と他のナビゲーションシステム (GPS受信機) を同時に使用すると、本機のGPS受信性能に悪影響が出る場合があります。同時に使用しないでください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機は、EIAJコードカラーに対応する変更を行いました。対応に伴い、本機ではEIAJコードカラーの他に次のコードカラーも変更されています。

オートアンテナ

リモートコントロール：青 青/黒

ビーコンコントロール：青 青/白

本機と他の製品では同じ動きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ動きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

接続のポイント

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重アンテナおよびそのアンテナコード
- * 青/ピンクリード線（FMトランスミッター送信用アンテナ）

それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

20ピンRGBの接続について

20ピンRGBの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

ピンクリード線の接続について

ピンクリード線（車速信号入力）は、内蔵の3Dハイブリッドセンサー用のリード線です。必ず接続してください。

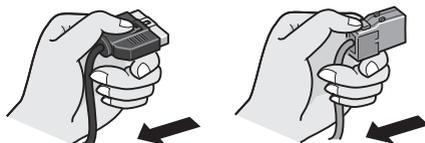
ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式で動作し、誤差が大きくなる場合があります。（『ナビゲーションブック』付録の「ナビゲーションのしくみ」）

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」（別売）をお使いください。

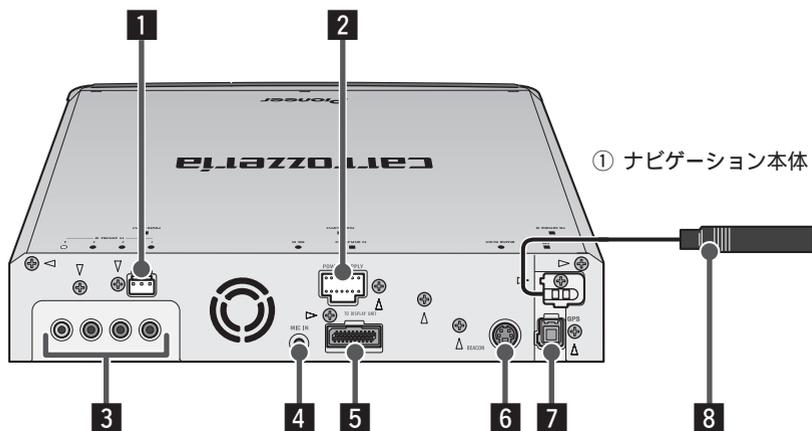
コネクターの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどちらの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続端子のなまえと働き



1 電源 (TVチューナー用)

付属の集中電源コードのTVチューナー用のコネクターを接続して、車のバッテリーから電源をもらいます。

2 電源 (GPSナビゲーションシステム用)

付属の集中電源コードのGPSナビゲーションシステム用のコネクターを接続して、車のバッテリーから電源をもらいます。

3 TVアンテナ接続端子1~4

付属のTVアンテナを接続します。1から順に接続してください。

4 マイク入力端子 (黒)

別売の音声認識キット「CD-V100」のマイクを接続します。

5 TVモニター接続端子 (青)

付属のTVモニターを接続します。

6 ビーコン受信機接続端子

VICS用ビーコン受信機、例「ND-B3」を接続します。

7 GPSアンテナ接続端子 (緑)

付属のGPSアンテナを接続します。

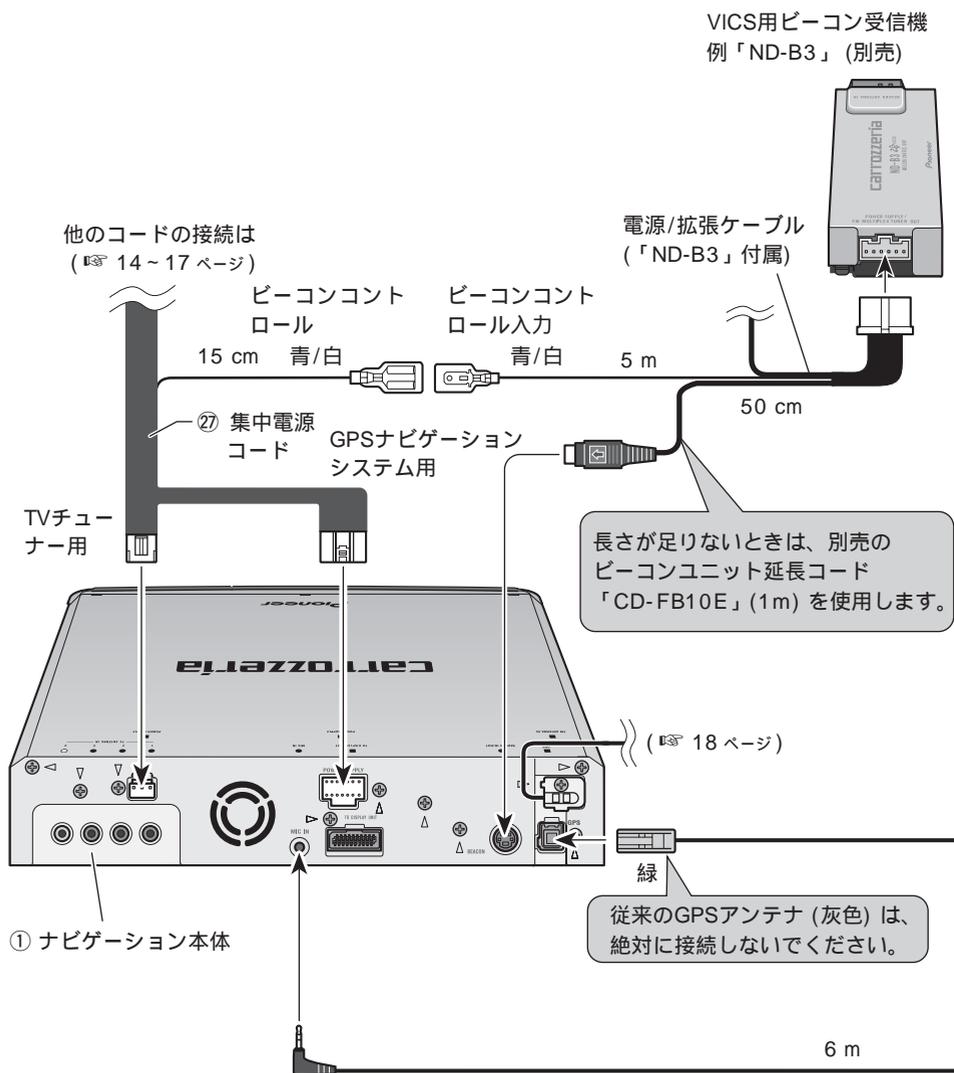
従来製品 (AVIC-D919など) に付属のGPSアンテナ (灰色) とは互換性がありません。絶対に接続しないでください。

8 VICS/FM多重アンテナ接続端子

VICS/FM多重放送を受信するためのアンテナを接続します。専用のアンテナを接続する方法、車載のアンテナを接続する方法、TVアンテナを接続する方法の、3つの接続方法があります。(P.18ページ)

システムの接続 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



「ND-B3」「CD-V100」と組み合わせた場合

⑧ GPSアンテナ

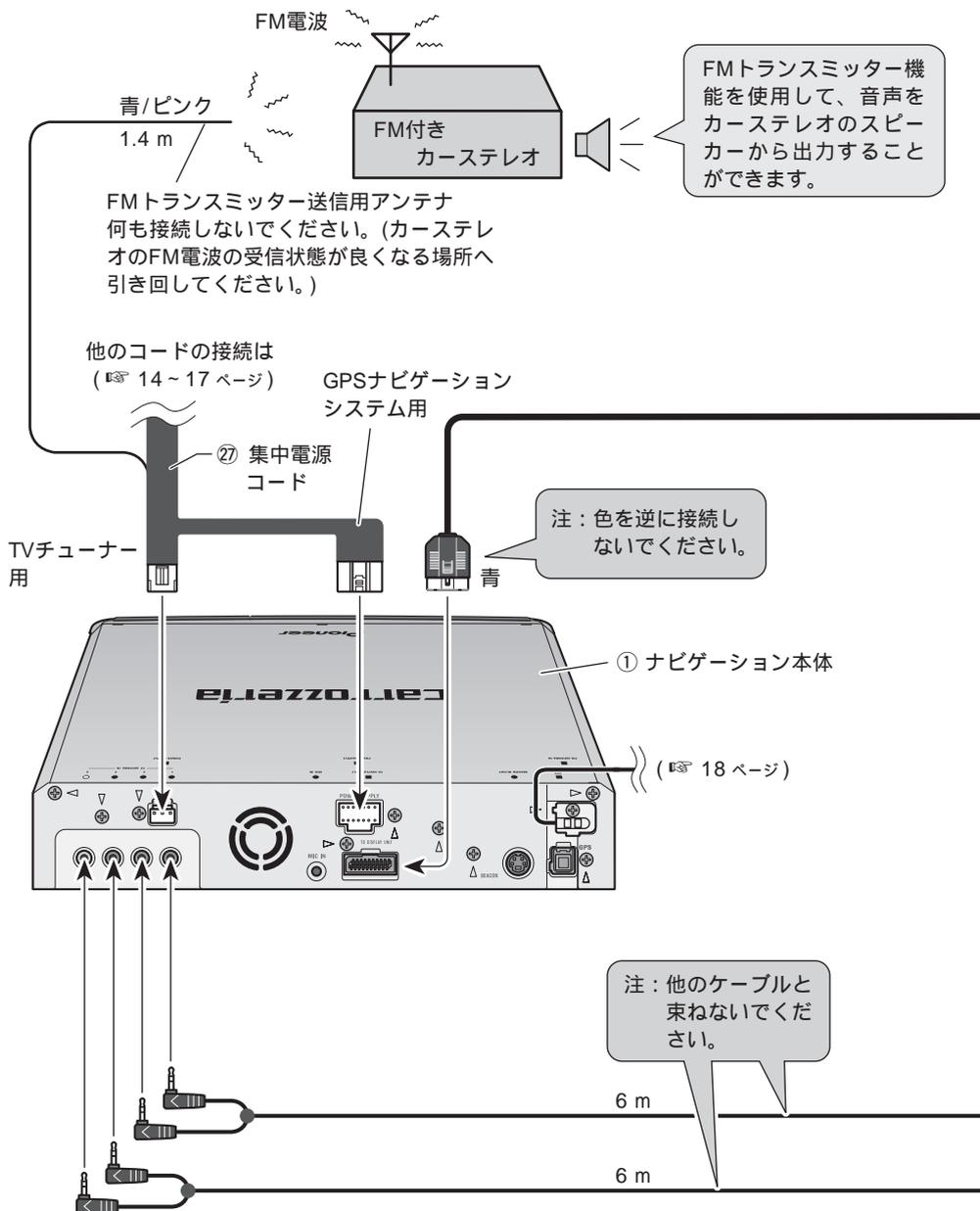
長さが足りないときは、別売の「RD-G32」
(3 m延長)をお使いください。

5 m

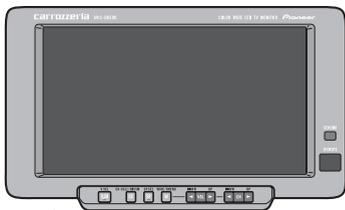
音声認識キット
「CD-V100」(別売)

システムの接続 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



⑫ TVモニター

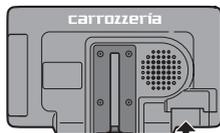


注：色を逆に接続しないでください。

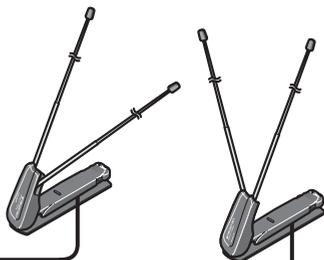
6 m ㊸ 20ピンRGBケーブル



ケーブルの接続 (モニター背面)



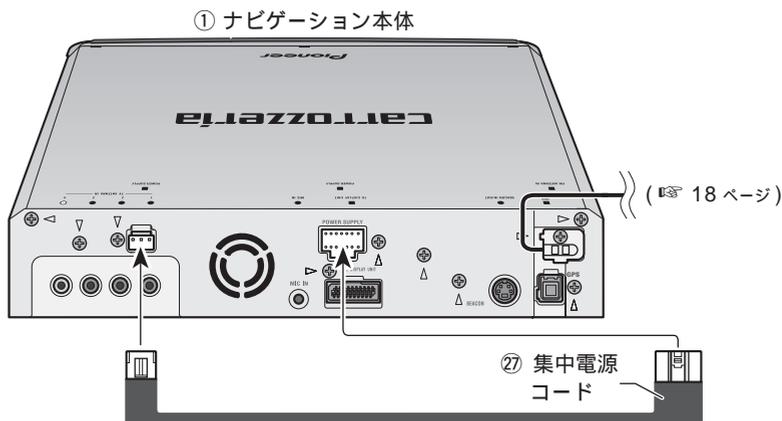
注：必ず付属のケーブルを使用してください。コネクタの色が違うケーブルは使用できません。(長さが足りないときは、別売の「CD-RGB31E」(3 m延長)をお使いください。)



⑬ TVアンテナ

電源コードの接続 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

ビーコンコントロール

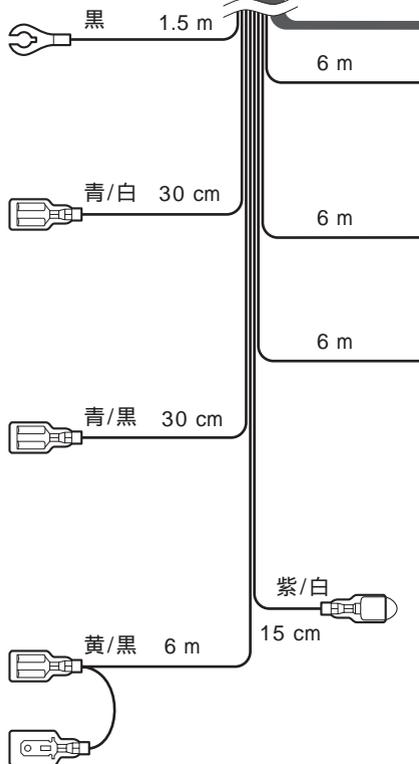
VICS用ビーコン受信機「ND-B3」または「ND-B2」(別売)と組み合わせるときに、「ND-B3」または「ND-B2」のビーコンコントロール入力端子に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。(本機と「ND-B1」を組み合わせるときは、この端子は使用しません。)

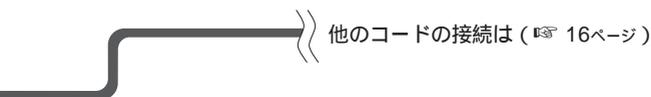
オートアンテナリモートコントロール

FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続するときに、「RD-FD20」の青/黒リード線(オートアンテナリモートコントロール)に接続してください。このリード線を接続したときは、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定してください。(参照 44ページ)

ミュート

パイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線(ミュート)がある場合、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときや音声で操作するときに、カーステレオにオーディオミュートがかかり音量が小さくなります。(オーディオミュートをかける条件は変更することができます。詳しくは『ナビゲーションブック』)

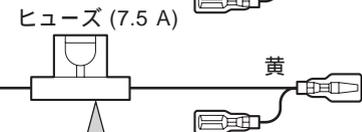




アクセサリ電源
 車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。
 エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けないでください。バッテリー上がりの原因になります。



イルミ電源
 車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路 (時計の照明回路やスモールランプ回路など) に接続してください。



+ バッテリー電源
 車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：ヒューズを交換するとき
 は、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

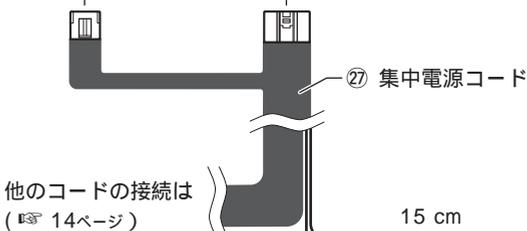
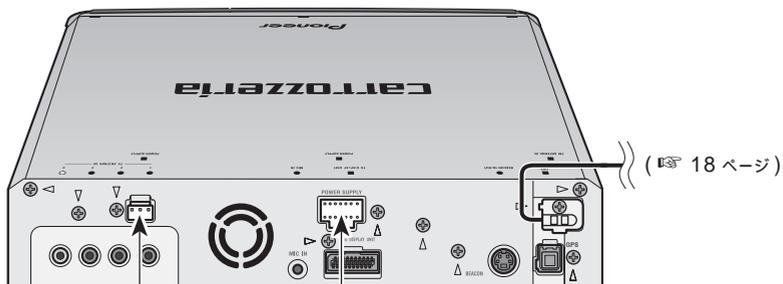
ND-PG1接続時のみ使用 バック信号入力

車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続した場合は、内蔵のセンサーが前進/後退を判断することができなくなります。この場合は「ND-PG1」に付属の紫/白リード線延長コードを使用してバックランプの+側リード線に必ず接続してください。それ以外は何も接続しないでください。通常は、内蔵のセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、何も接続する必要はありません。(何も接続しないときはキャップをはずさないでください。) 詳しい接続方法は、「ND-PG1」の追加説明書をご覧ください。

電源コードの接続 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

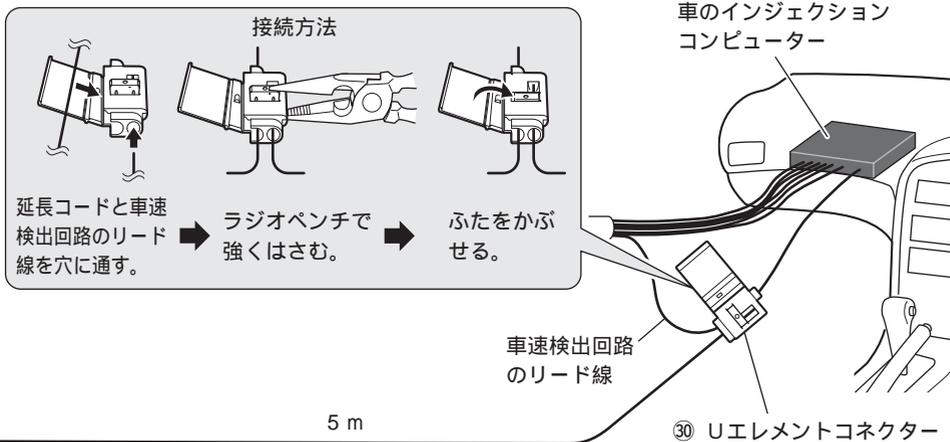
① ナビゲーション本体



車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)



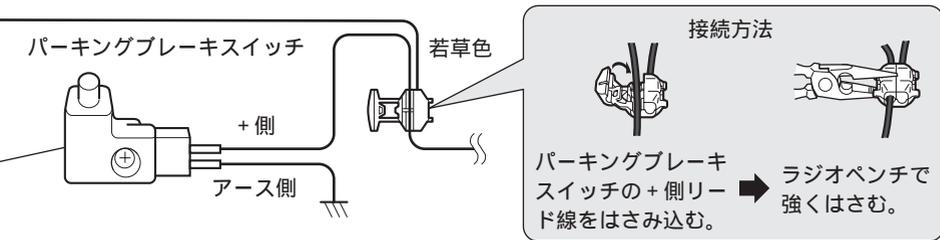


②⑨ ピンクリード線延長コード

インジェクションコンピューターの車速検出回路や、パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。



VICS/FM多重アンテナの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

接続のポイントと接続上のご注意

電波の弱い地域では、FM多重用には、専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続するか、FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続してください。

首都圏中心部ではFM多重放送の送信出力が高く、TVアンテナを組み合わせた場合に、TVアンテナの1素子をFM多重用として使用できる場合があります。その他の地域では送信出力が低いため、TVアンテナでは十分な感度を得られません。

電波の弱い地域で、TVアンテナの1素子をFM多重用として使用すると、FM多重放送やテレビを感度良く受信できない場合があります。

車載のアンテナがガラスアンテナの場合は、車載のアンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。

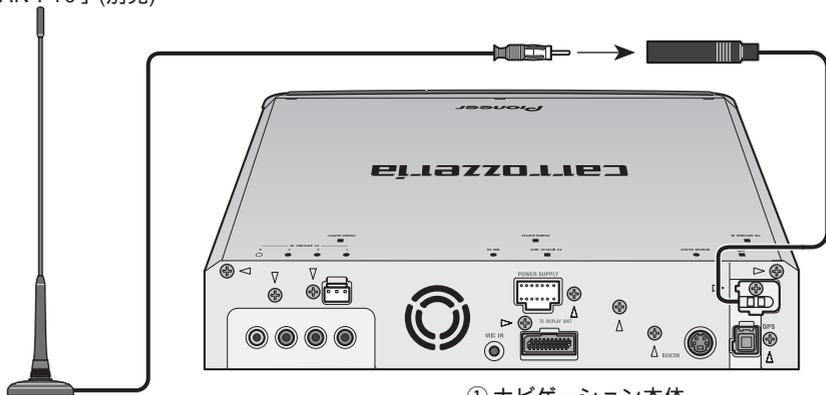
別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は、FM多重用には使用できません。接続しないでください。

専用のアンテナを接続する方法

専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続します。

注：別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は使用できません。接続しないでください。

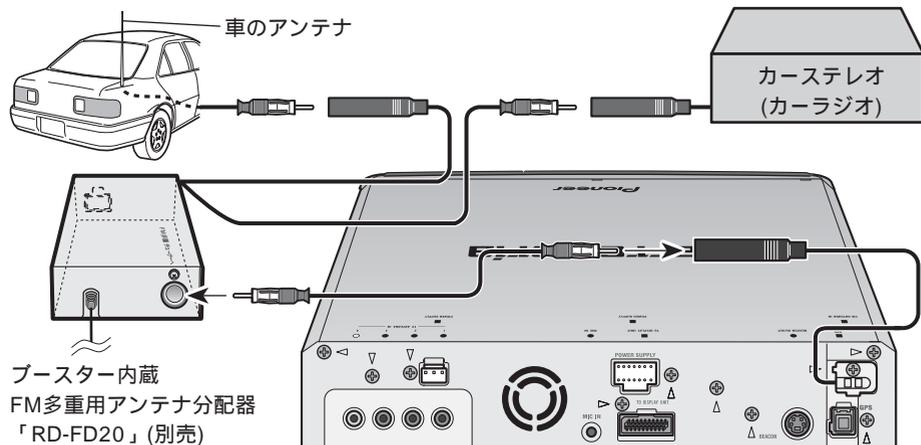
FM多重用アンテナ
「AN-F10」(別売)



① ナビゲーション本体

車載のアンテナを接続する方法

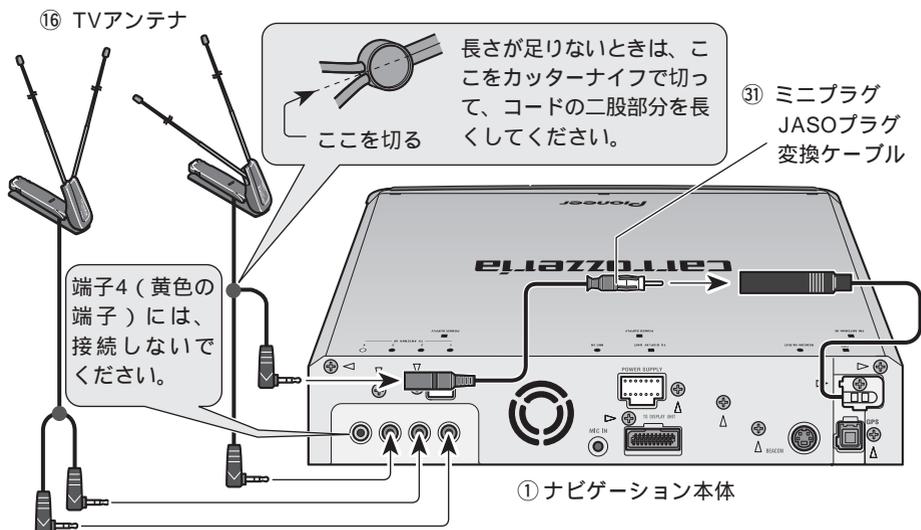
ブースター内蔵FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続します。車載のアンテナがオートアンテナの場合は、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定してください。(P.44ページ)



① ナビゲーション本体

TVアンテナを接続する方法

電波の強い地域で、TVアンテナの1素子を接続することもできます。この場合、TVアンテナは端子1~3(黒色の端子)に接続してください。

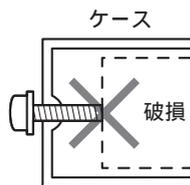


① ナビゲーション本体

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- * TVアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
- * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- * FM多重アンテナおよびそのアンテナコード
- * 青/ピンクリード線（FMトランスミッター送信用アンテナ）

それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

ナビゲーション本体の取り付けについて

2つの取り付け方法があります

トランク内の床に取り付ける方法

粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けことができますが、取り付け強度はトランク内の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

トランク内の取付ボードに取り付ける方法

トランク内に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。

ナビゲーション本体の取り付け

取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアートレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかけやすい場所には取り付けないでください。

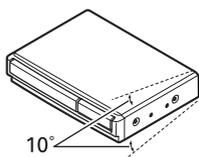
しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けないでください。

荷物などが当たる場所には取り付けないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

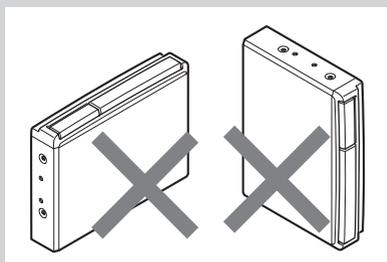
スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。また、DVD-ROMディスクが出し入れできることを確認してください。

上下の傾きは、水平に対して、10度以内の角度で取り付けてください。角度が大きくなると、現在地を正しく表示できなくなります。

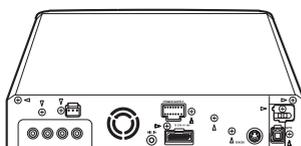


ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けないでください。

縦置きしないでください。故障の原因となります。また、裏返して取り付けないでください。

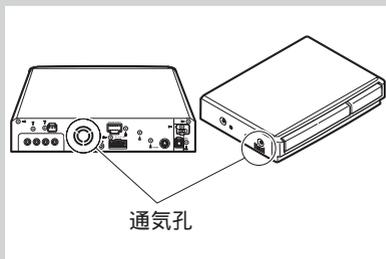


ナビゲーション本体には音声認識用のノイズマイク（車内の雑音を検知するマイク）が背面側に内蔵されています。ナビゲーション本体の背面部分にカーペットなどをかぶせないでください。ノイズマイクの働きが悪くなります。



ナビゲーション本体背面

内部の温度上昇を防ぐため、ナビゲーション本体に通気孔が開けてあります。この通気孔をふさがないでください。



通気孔

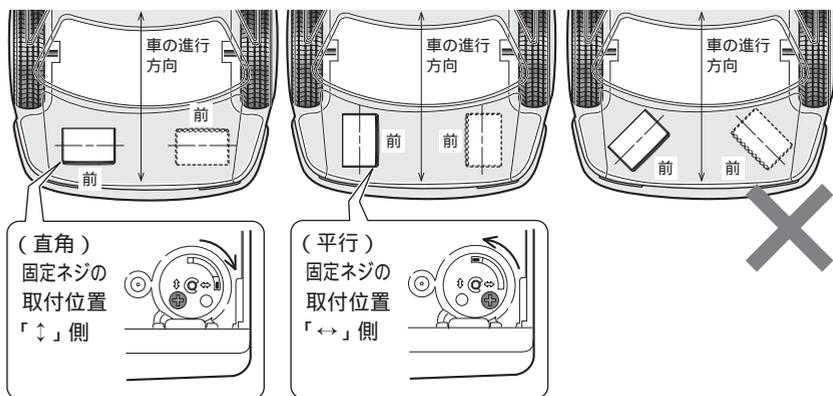
ナビゲーション本体の取り付け

つづき

取り付ける向きについてのご注意

ナビゲーション本体の左右が、車の進行方向に対して直角または平行になるように取り付けてください。斜めには取り付けしないでください。車の進行方向に対して斜めに取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。

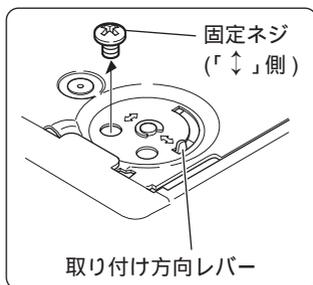
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、内蔵のGセンサーを正しく動作させるため、必ず本体底面の取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に切り換え、固定ネジを「↔」側に取り付けください。



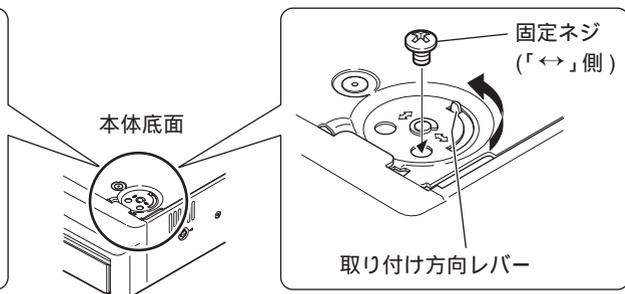
ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、本体底面の固定ネジを取り外して取り付け方向レバーを切り換え、固定ネジを「↑↓」側から「↔」側に取り付けなおしてください。「↑↓」側に取り付けたままだと、内蔵のGセンサーが正しく動作しません。

1 取り付け方向レバーの固定ネジを取り外す



2 レバーを切り換え、固定ネジを「↔」側に締める

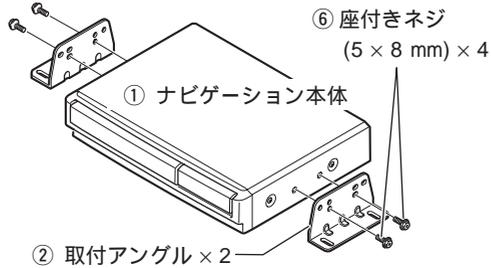
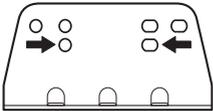


取付アングルを取り付ける

取付アングルをナビゲーション本体に取り付ける

ナビゲーション本体を車に取り付けるために、取付アングルをナビゲーション本体に取り付けます。

取付アングルの次の穴を使用します。

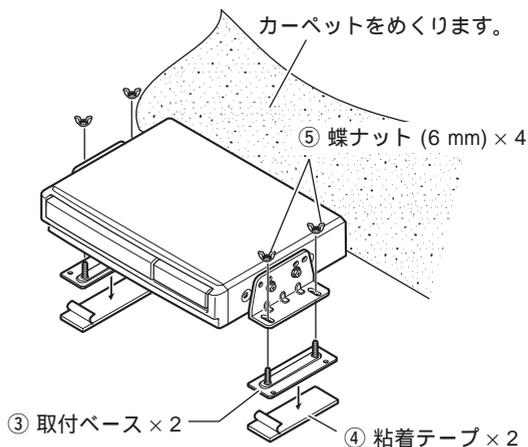


ナビゲーション本体の取り付け

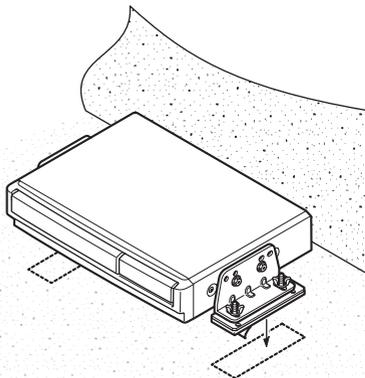
つづき

トランク内の床に取り付ける場合

1 取付アングルに取付ベースを取り付ける

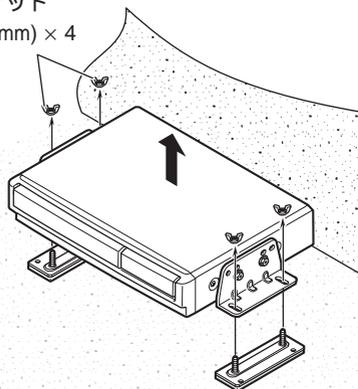


2 取り付け位置を決め、粘着テープを貼る

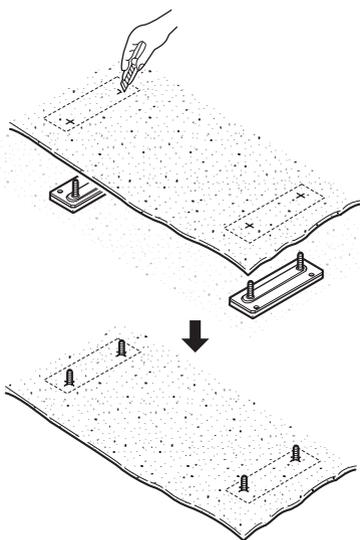


3 蝶ナットを外し、本体を一度取り外す

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4

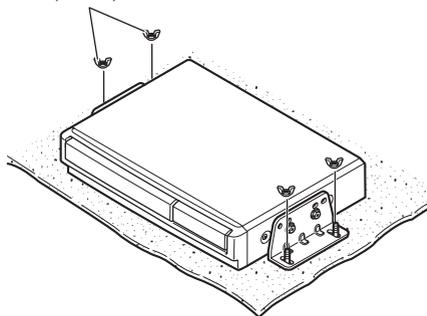


4 カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す



5 本体を取り付け、しっかり固定する

⑤ 蝶ナット
(6 mm) × 4



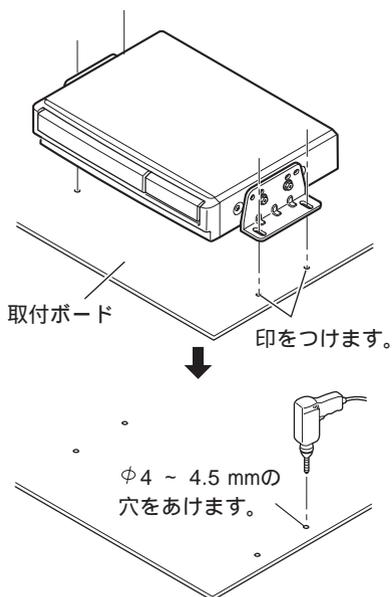
取り付けかた

ナビゲーション本体の取り付け

つづき

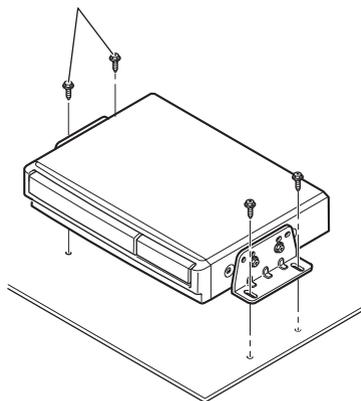
トランク内の取付ボードに取り付ける場合

- 1** 取り付け位置を決め、
穴を開ける



- 2** タッピングネジで、
しっかり固定する

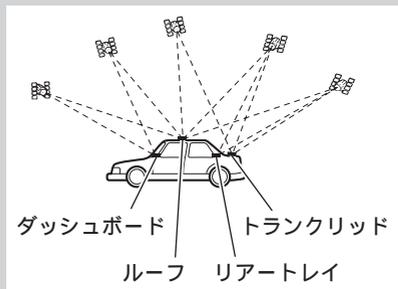
⑦ タッピングネジ (6 × 16 mm) × 4



GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

GPSアンテナは、ナビゲーション本体やTVアンテナから30cm以上離して設置してください。また、あまったGPSアンテナコードをまとめて置くと、ナビゲーション本体やTVアンテナから30cm以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。

GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

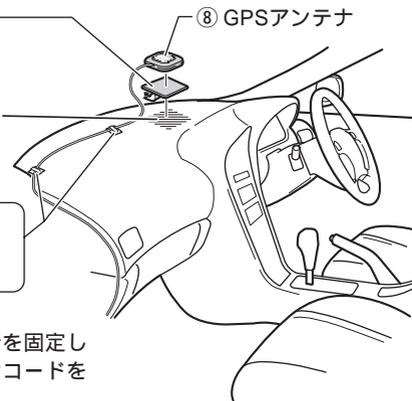
GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

車内(ダッシュボードやリアートレイの上)に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

- ⑨ 金属シート
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。

金属シートを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



メモ

車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。

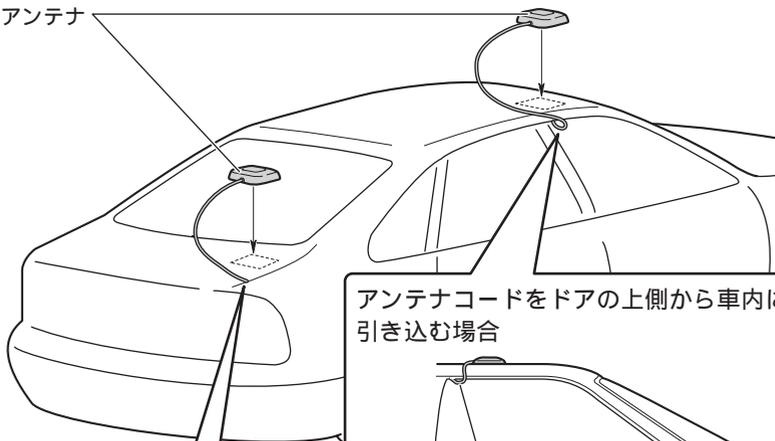


- ⑩ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

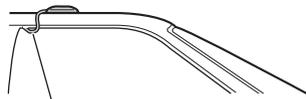
車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

⑧ GPSアンテナ



アンテナコードをドアの上側から車内に引き込む場合



雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードを外側でU字形に曲げます。



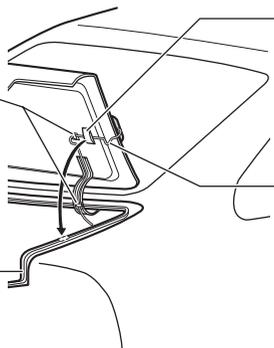
⑩ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

アンテナコードをトランク内に引き込む場合



⑩ クランパー×5
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



⑪ 防水パッド
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

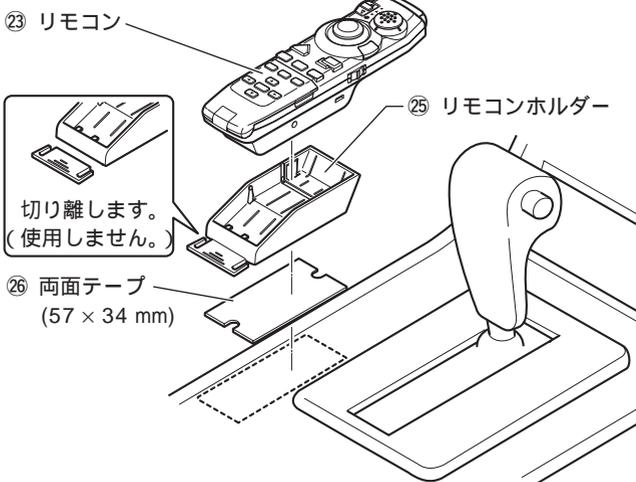
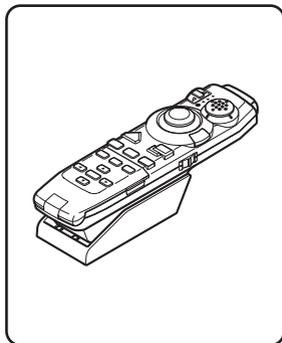
雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

リモコンの取り付け

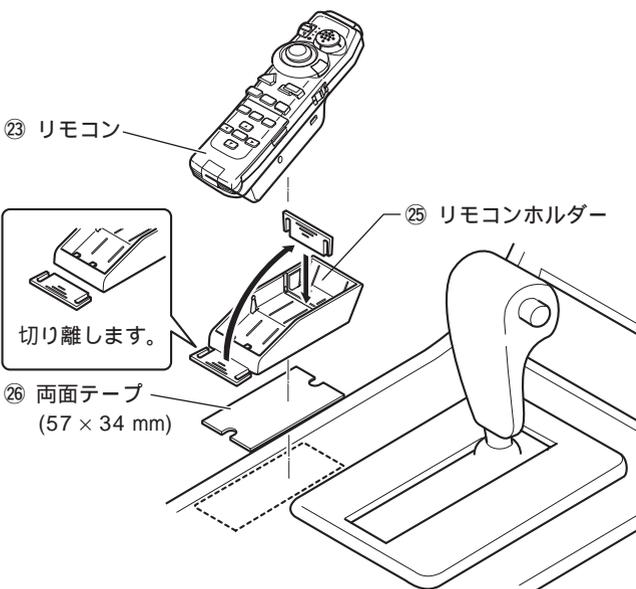
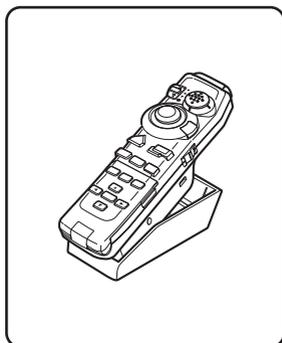
両面テープで取り付ける場合

付属の両面テープ (57 × 34 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。

水平にセットする場合



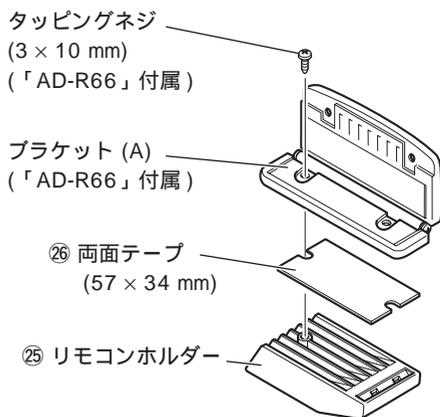
上向きにセットする場合



別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

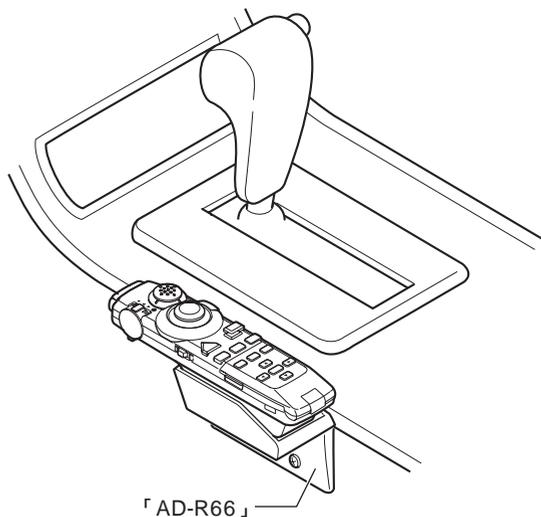
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



2 「AD-R66」を 車に取り付ける

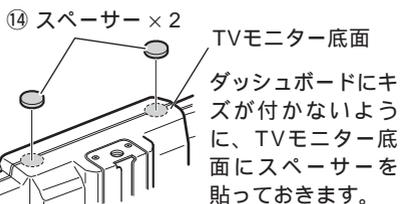
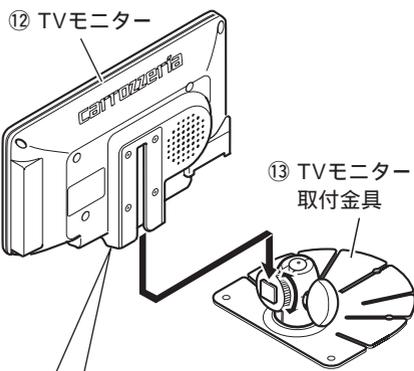
「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



TVモニターの取り付け

ダッシュボードの上に置くTVモニターを、取付金具で固定します。

1 TVモニターに取付金具を取り付ける

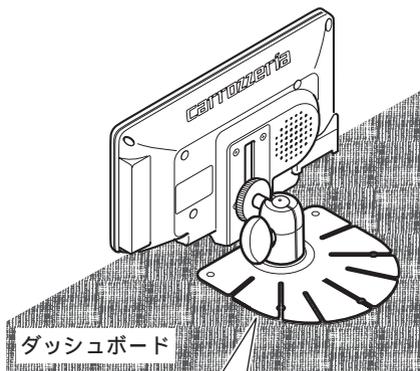


2 TVモニターを取り付ける位置を決める

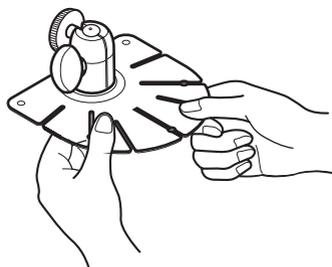
TVモニター取付金具の裏側の保護シートをはがさずに、ダッシュボードに当て、TVモニターを取り付ける位置を決めます。

次の場所を選んでください。

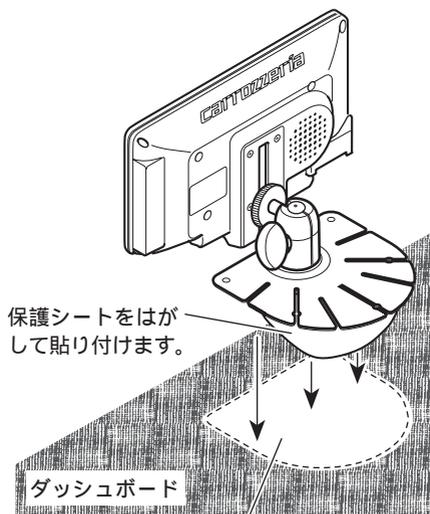
- * 運転の妨げにならない場所。
- * エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所。
- * TVモニターを傾けてもフロントガラスに当たらない場所。
- * TVモニターの底面がダッシュボードに当たる場所。



ダッシュボードの形状に合うように、曲げてください。



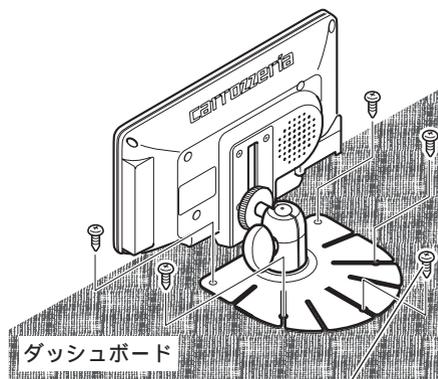
3 TVモニターをダッシュボードに貼り付ける



TVモニターを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

4 タッピングネジで固定する

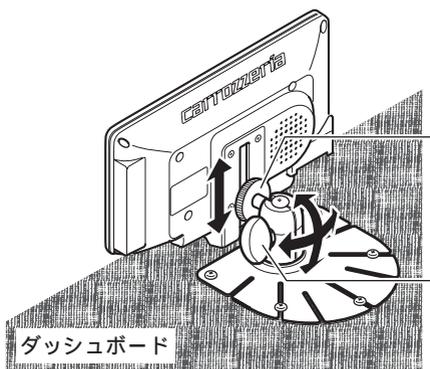
タッピングネジで、TVモニター取付金具をダッシュボードにしっかりと固定します。



⑮ タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 5

5 TVモニターの底面がダッシュボードに当るように調節する

TVモニターを安定させるため、TVモニターの底面がダッシュボードに当るように (TVモニターをダッシュボードの上に置くように)、上下の高さを調節してください。また、TVモニターを見やすい角度に調節してください。TVモニターは、下から見ると明るく見え、上から見ると暗く見えます。



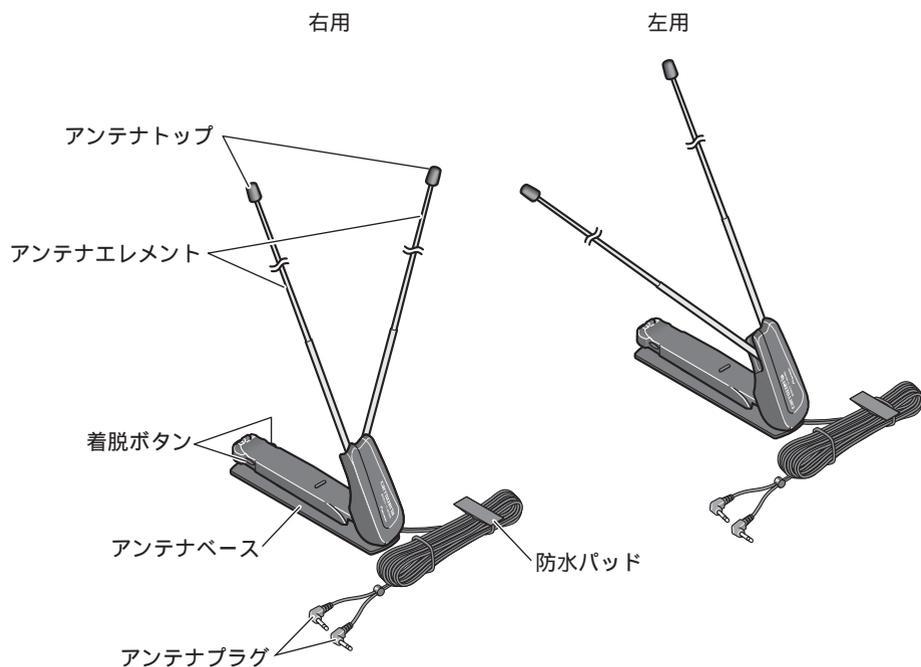
TVモニターを上下に調節できます。

TVモニターの角度を調節できます。

ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

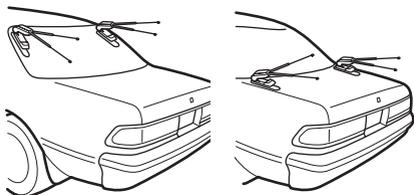
TVアンテナの取り付け

各部のなまえ



取り付け場所について

アンテナは、リアーガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感度が良くなります。

リアーガラスに取り付けるときは、トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置(できるだけ高い位置)に取り付けてください。

リアーガラスに取り付けるときは、リアーワイパーの可動範囲を確認し、リアーワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けしないでください。

トランクリッドに取り付けるときは、トランクを開けたときに、アンテナがリアーガラスに当たらない位置に取り付けてください。ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーのリアーガラスには、絶対にはり付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

リアーガラスに取り付けるときは、必ず付属のガラスクリーナー剤を使用して、アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、きれいな布で取り除いてください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

確実に貼り付けるため、取り付けは、天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

気温が低いときにリアーガラスに取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアーデフォガススイッチをONにして暖めておいてください(20℃以上)。

リアーガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアーガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は、指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので車のボディには使用しないでください。

フッ素樹脂処理および再塗装された車のボディには貼り付けられません。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

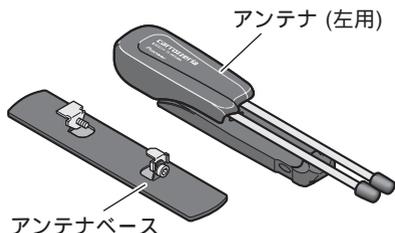
TVアンテナの取り付け

つづき

リアーガラスへの取り付けかた

1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。
(P. 41ページ)



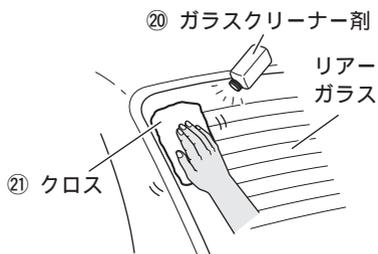
2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを、裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面に、できるだけすき間のできない位置をさがします。



3 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、水で洗い流します。
- ③ きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

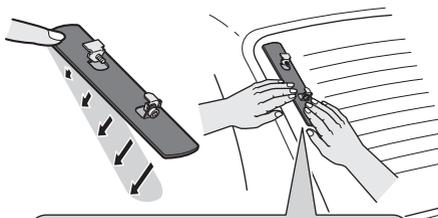


4 気温が低いときはリアーガラスを暖める

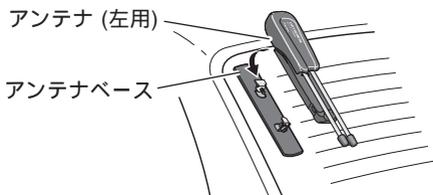
接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアーデフォガススイッチをONにして、リアーガラスを20℃以上に暖めます。

5 アンテナベースをリアーガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。

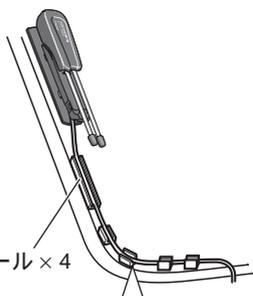


6 アンテナを取り付ける (※ 41ページ)

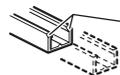


7 アンテナコードを固定する

付属のコードレールをリアーガラスに貼り付け、コードを固定します。



カッターなどで必要な長さに切断します。

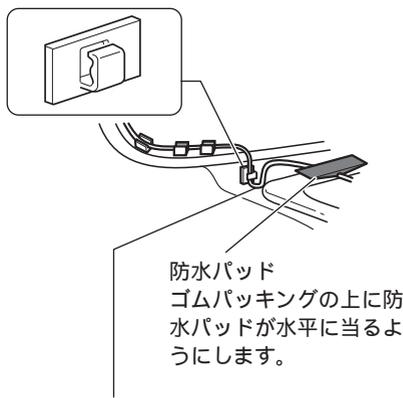


切断した後、ヤスリなどで角を削ります。

8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

⑲ クランパー×6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。



雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

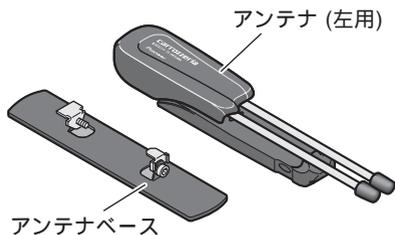
TVアンテナの取り付け

つづき

トランクリッドへの取り付けかた

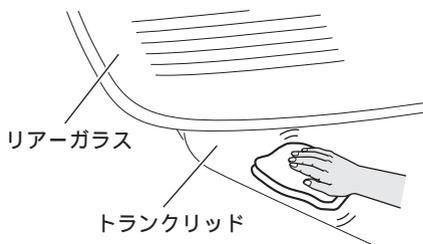
1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。
(☞ 41ページ)



2 汚れ、油などを取り除く

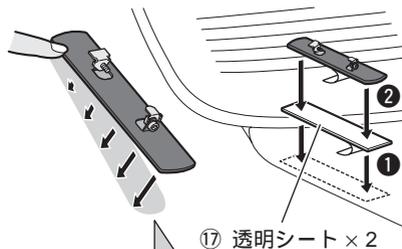
アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので車のボディには使用しないでください。

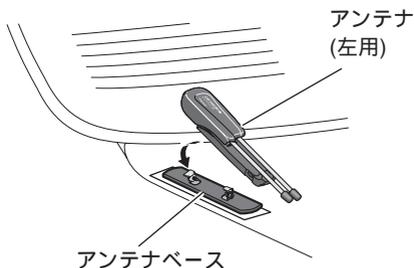
3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

- 1 透明シートをトランクリッドに貼り付けます。
- 2 透明シートにアンテナベースを貼り付けます。



トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

4 アンテナを取り付ける (☞ 43ページ)

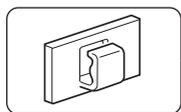


5 アンテナコードを 車内に引き込む

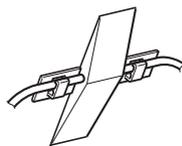
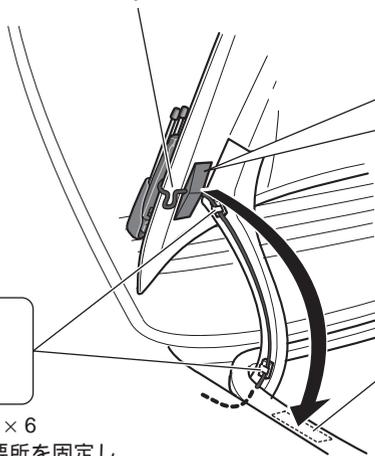
付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

防水パッド
防水パッドの前後をクランパーで固定します。



⑱ クランパー × 6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

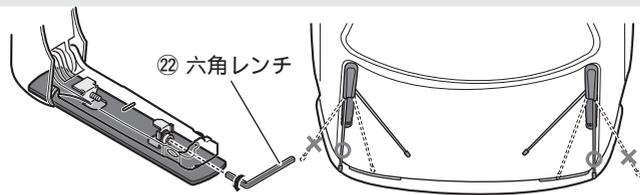


トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



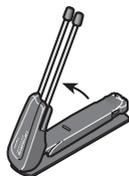
ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TVアンテナの取り付け

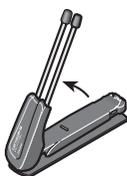
つづき

アンテナの使いかた

1 アンテナを 起こす

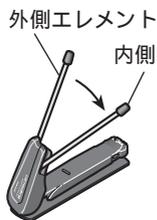


右用



左用

2 内側エレメントを 横にいっぱいにならず

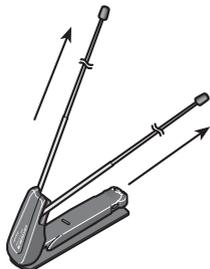


右用

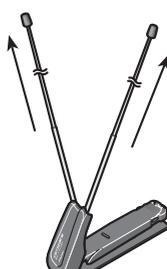


左用

3 アンテナエレメントを いっぱいにならず



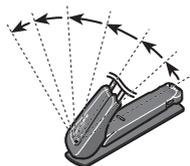
右用



左用

4 アンテナ角度を 調節する

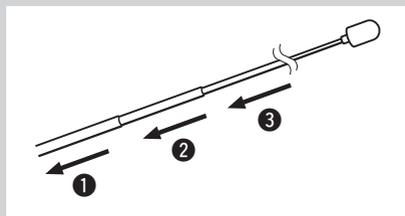
アンテナの角度は、7段階に設定できます。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。



メモ

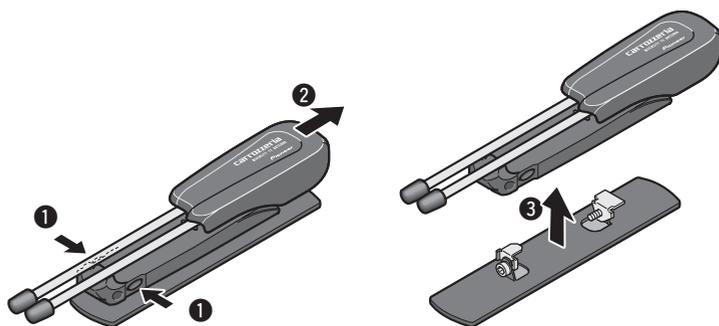
トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、鮮明な映像が得られない場合があります。

アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合は、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

アンテナの外しかた

① 着脱ボタンを押しながら、② アンテナを矢印の方向にスライドさせて、③ アンテナを矢印の方向に持ち上げます。



アンテナの取り付けかた

アンテナベースのフックをアンテナの溝に引っかけて差し込みます。（“カチッ”と音がすることを確認してください。）

取り
付け
かた

アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品でふかないでください。表面が侵されることがあります。

エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいでください。

アンテナのエレメントにアクセサリーなどの飾りを付けしないでください。無理な力をかけると、エレメントが折れ曲がる恐れがあります。

接続の確認とセンサーリセット

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、はじめに接続の確認、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。

ジョイスティックと
決定ボタン

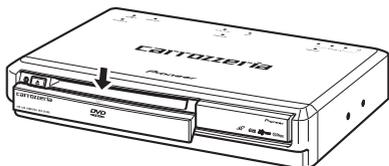


リモコンをお使いになる前に、『スタートブック』の「準備1：リモコンの準備をする」をご覧になり、リモコンの設定スイッチを正しく設定してください。

1 車のエンジンを
かける



2 フロントドアを
開ける

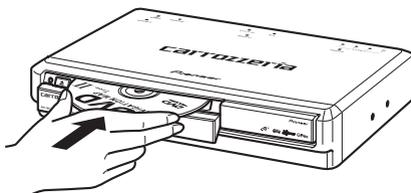


3 ボールペンの先などで、
本機のリセットボタンを押す



リセットボタン

4 ナビゲーション本体に
ディスクをセットする



動作開始までに、一度自動的に電源がON/OFF
しますが、故障ではありません。

5 接続を確認して、
センサーリセットを行う

(次ページ)

を行う

接続を確認して、センサーリセットを行う

3Dハイブリッドセンサーが一度もリセットされていないと、次のような画面になります。[接続確認]を選び、決定ボタンを押してください。接続確認画面になりますので、以下の説明を参考にして本機の接続状態を確認します。



確認が終わったら、必ずセンサーリセットを行ってください。
(『スタートブック』24ページ)

接続確認画面の見かた

車速パルス：車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発音音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5 km程度）で行ってください。

GPSアンテナ：GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば[OK]が、未接続の場合には[NG]が表示されます。

GPS感度：GPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。GPSアンテナの取り付け上のご注意（『スタートブック』28ページ）を参照して、取り付け位置を確認してください。

取り付け位置：ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。[NG]が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付け、[OK]が表示されるのを確認してください。

パーキングブレーキ：パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると[OFF]、かけ直すと[ON]が表示されます。

電圧：車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンアイドリング時に11～15 Vの範囲にないときは、電源コードの接続状態を再度確認してください。なお、表示誤差（±0.5 V程度）があるため、この表示は参考値です。

接続の確認とセンサーリセットを行う

つづき

イルミネーション：イルミ電源（橙リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [ON]、消すと [OFF] が表示されます。

ビーコンユニット：VICS用ビーコン受信機「ND-B3」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [OK]、未接続の場合には [NG] が表示されます。

バック信号：ND-PG1接続時のみ使用 バック信号入力（紫/白リード線）の接続状態を確認できます。

本機は、内蔵の3Dハイブリッドセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、紫/白リード線は、通常は接続しません。ただし、車速パルス発生機「ND-PG1」を接続した場合は、ND-PG1接続時のみ使用 バック信号入力を必ず接続してください。接続したら、パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでから次の操作を行ってください。シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認してください。

本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナを上下させるには

FM多重用のアンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続した場合は、本機の電源ON/OFFに連動してオートアンテナが上下するように設定します。

10キーカスタマイズの「オートアンテナを上下する」を10キーのいずれかに割り当てて、オートアンテナを上下する設定に切り換えてください。（出荷時はオートアンテナが上下しない設定になっています。）（『ナビゲーションブック』Chapter9の「10キーをカスタマイズする」）